

日本歴史時代作家協会 理事会 議事録

日時

令和 7 年 12 月 17 日 (水) 20:00~22:00

場所

オンライン・リモート会議

出席者

(理事)

飯島一次、伊多波碧、加藤淳、橘かがり、久宗圭一、森川雅美、
理流、森田健司 計 8 名

柏原弘幸 (監査役)

(欠席者)

雨宮由希夫、藤原緋沙子、菊池仁 計 3 名

事前配布資料

- ・電子書籍事業の新運営方法と新体制案
(2025 年 12 月 17 日理事会審議事項) 2025 年 12 月 8 日改訂版
- ・電子書籍出版サービス利用規約 (案) 2025 年 12 月 7 日
- ・文藝家協会共同シンポジウム改案 (12 月)
- ・会報第 12 号 (12 月現在)

0. 開会

三田代表代行は、重要な別の会議と重なったため欠席した。

理事の過半数の出席により、本理事会は開催要件を満たし、成立することが確認された。

議事は、久宗理事の進行により行われた。

審議事項

電子書籍事業の運営方法・体制の見直しと新たな発行形態への移行について

久宗理事より、「電子書籍事業の新運営方法と新体制案」について説明があった。続いて理流より、新しい電子書籍出版サービスの利用規約（案）について説明が行われた。

電子書籍の新レベルでの出版については、著者個々と出版契約を結ぶ形ではなく、著者が日本歴史時代作家協会の電子書籍出版サービスの利用を申し込み、その際に利用規約に同意することを前提とする形を取るものとする。

→ 質疑応答の後、決議されて全会一致で承認された。

新レベルの名称について

14 のレベル案が提案され、理事による投票（1 位票：3 点、2 位票：1 点）を行った結果、新レベル名は「歴史行路文庫 Neo」に決定した。

※新レベルの決定に伴い、既存レベルについては「歴史行路文芸文庫」と、「文芸」を必ず付けた名称を使用することが確認された。

報告事項

文学フリマ（11月23日開催）の結果報告

- ・「文学フリマ東京 41」は、11月23日（日）に開催された。
- ・本の売上は 53,600 円、支出は出店料、著者取り分、宅配便代などで計 45,737 円となり、収支は 7,863 円の黒字であった。
- ・来場者数は 18,971 人（出店者 5,463 人、一般来場者 13,508 人）で、過去最多となった。

なお、前回開催の「文学フリマ東京 40」（2025 年 5 月開催）の来場者数は 16,111 人であった。

シェア型書店「ほんまる」の現状報告

報告は割愛。次回会報の原稿担当は理流とする。

事務局長より来期の人事について

1月中に調整を行い、2月の拡大理事会にて提案できるよう進めたいとの報告があった。

以上